

2026(令和8)年度 授業計画

服飾専門課程 服飾造形科 1年次

目 次

【1】	服飾造形・実習 I	1101
【2】	ファッション画 I	1102
【3】	クリエイティブデザイン I	1103
【4】	アパレルCG I	1104
【5】	アパレル素材論	1105
【6】	服装史	1106
【7】	色彩論 I	1107
【8】	ファッションビジネス概論	1108
【9】	コミュニケーションスキル I	1109
【10】	特別講義 I	1110
【11】	マーケットリサーチ	1111
【12】	プレゼンテーション I	1112
【13】	ファッション実用英語	1113
【14】	ビジネスコンピュータ(基礎)	1114

服飾造形・実習Ⅰ

白倉 圭子、神崎 由里香

服飾造形科 1年 通年(前期) 必修 (19単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

デザイン考案、製図(パターン)、トワル作成、仮縫い、縫製、仕上げまでの一連の制作工程を実習し、服飾造形に必要な基本的理論、パターンメイキング、服の構成、縫製技術など、服作りの基礎を修得する。

ハンドワークでは手芸の多様な技法を集中して学び、写真演習では映像のスペシャリストを招き、スマートフォンによる写真撮影のテクニックや画像編集方法を習得し、ポートフォリオの作成に活かす。

■到達目標(学修成果)

洋服作りの基本的な理論と技術の修得に加え、デザインに適した作品作りができるようになる。

また、各種検定の資格取得も目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、1年次修了に必要な科目。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

実物作品は採点后、返却。

課題や部分縫い等は添削・採点して返却。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I, II, SEWING I, II, III, IV、基礎テキスト

■参考文献

Doreme NEW PATTERN BOOK No. 6, 7, 8, 9、フォーマルウェア・ルールブック、Fashion+イラストで学ぶファッション、ファッションビジネス3級

■オフィスアワー・研究室

白倉…毎週：水曜日15時30分～16時30分 本校舎2階1026教室

神崎…毎週：水曜日15時30分～16時30分 本校舎2階1021教室

■備考

システム上変更ができないため、回数表記は週単位の授業内容である。

授業内容は変更することもある。

オフィスアワーは変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 各担任	用具について、採寸について、基本スカートについて、スカート各種1/2製図	復習：1/2製図まとめ	30分
2回 各担任	<基本スカート>スカート各種1/2製図、実寸製図、トワル(ピン打ち)	予習：シーチング地直し 復習：1/2製図まとめ	60分
3回 各担任	<基本スカート>縫製(フラットファスナー付け・ベルト付け・カギホック付け)、提出	復習：縫製など	60分
4回 各担任	<デザインスカート>デザイン相談、実寸製図、トワル仮縫い、工業用パターン	予習：デザイン考案、シーチング地直し 復習：工業用パターン	60分
5回 各担任	<デザインスカート>生地裁断、縫製 企業研修	予習：縫製手順作成、生地地直し	60分
6回 各担任	<デザインスカート>縫製、仕様書、提出、発表	予習：仕様書作成、コーディネート考案	30分
7回 各担任	<デザインブラウス>採寸について、身頃原型について、ブラウス各種1/2製図	復習：1/2製図まとめ	30分
8回 各担任	<デザインブラウス>デザイン相談、実寸製図	予習：デザイン考案、シーチング地直し	60分
9回 各担任	<デザインブラウス>トワル仮縫い、工業用パターン	予習：縫製手順作成 復習：工業用パターン	60分
10回 各担任	<デザインブラウス>生地裁断、縫製(衿付け・袖付け)	予習：生地地直し 復習：縫製など	60分
11回 各担任	<デザインブラウス>縫製(ボタンホール・ボタン付け)、仕様書、提出、発表	予習：仕様書作成、コーディネート考案	30分
12回 各担任	<パンツ>パンツ各種1/2製図、実寸製図、工業用パターン	復習：工業用パターン	60分
13回 各担任	<パンツ>生地裁断、縫製(ポケット2種・持ち出し付きファスナー付け)	予習：生地地直し 復習：縫製など	60分
14回 各担任	<パンツ>縫製(ヨークベルト付け)、仕様書、提出、発表	予習：仕様書作成、コーディネート考案	60分
15回 各担任	<ジャケット部分縫い>1/2製図、実寸製図、ハンドワーク(集中)、写真演習①(スマホ)	復習：1/2製図まとめなど	60分

服飾造形・実習Ⅰ

白倉 圭子、神崎 由里香

服飾造形科 1年 通年(後期) 必修 (19単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 各担任	<ジャケット部分縫い>工業用パターン(表地・裏地・芯地)、写真演習②(屋内撮影)、検定試験対策	予習: 検定試験対策 復習: 工業用パターン	60分
2回 各担任	<ジャケット部分縫い>生地裁断、縫製準備、写真演習③(屋外撮影)、検定試験対策	予習: 生地地直し、撮影準備、検定試験対策	60分
3回 各担任	<ジャケット部分縫い>縫製(フラップポケット)、写真演習④(編集)、検定試験対策	予習: 撮影準備、検定試験対策	60分
4回 各担任	<ジャケット部分縫い>縫製(テーラーカラー・裏地付け)、写真演習⑤(講評・まとめ)、検定試験対策	予習: 検定試験対策 復習: 縫製など	60分
5回 各担任	<ジャケット部分縫い>縫製(袖口あきみせ・セットインスリーブ・肩パッド付け)、検定試験対策	予習: 検定試験対策 復習: 縫製など	60分
6回 各担任	<ジャケット部分縫い>縫製(ボタンホール・ボタン付け)、提出、検定試験対策	予習: 検定試験対策 復習: 縫製など	60分
7回 各担任	<ワンピース部分縫い>実寸製図(コンシールファスナー付け)、提出、ワンピース各種1/2製図、検定試験対策	復習: ボタンホール練習	60分
8回 各担任	<コート部分縫い>(ポケット3種、ベンツ)、提出、コート各種1/2製図、検定試験対策	予習: 検定試験対策 復習: 縫製など	60分
9回 各担任	<修了制作>デザイン相談、実寸製図、検定試験対策	予習: デザイン考案、検定試験対策	60分
10回 各担任	<修了制作>トワル仮縫い、検定試験対策	予習: シーチング地直し、検定試験対策	60分
11回 各担任	<修了制作>工業用パターン(表地・裏地・芯地)	予習: 縫製手順作成 復習: 工業用パターン	60分
12回 各担任	<修了制作>生地裁断、仮縫い、縫製	予習: 生地地直し 復習: 縫製など	60分
13回 各担任	<修了制作>仮縫い、縫製	復習: 縫製など	60分
14回 各担任	<修了制作>縫製、仕様書、提出	予習: 仕様書作成 復習: 縫製など	60分
15回 各担任	<まとめ>発表、ポートフォリオ、子供服について	予習: コーディネート考案、ポートフォリオ	60分

ファッション画 I

福地 宏子

服飾造形科 1年 通年(前期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

ファッションイメージを的確に表現し伝達するために、人体のプロポーション・服の構造・生地や素材・服の型のみを描く平絵の表現を学び、人体と服についての理解を深める。

■到達目標 (学修成果)

- ・基本のプロポーション (8頭身) にそって衣服を的確に描くことができる。
- ・服の構造、ディテール、素材表現等を修得できる。
- ・平絵を修得できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

終了要件として必要な科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各課題にはコメントやアドバイスを記入し、返却後に振り返りができるようにする。または直接コメントする。課題によっては、返却時にクラスメイトの課題を閲覧する時間を設けて、意見交換やアドバイスを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ファッション画法

■参考文献

必要に応じて適宜紹介する

■オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】ファッション画研究室 研究棟2階 6025

■備考

- ・授業に必要な道具や参考資料は必ず開始前に準備すること
- ・進度により授業計画が変更になる場合もある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 福地	【教材、授業計画の確認】 【人体のプロポーション①】8頭身の基本バランス	【予習】各自教材の確認・準備	30分
2回 福地	【人体のプロポーション②】 8頭身の基本バランス	【復習】人体のプロポーションの反復練習	60分
3回 福地	【ポーズのバリエーション】 片脚重心のポーズ	【復習】人体のプロポーションの反復練習	60分
4回 福地	【顔のプロポーション】 正面、横、斜めの基本バランス	【復習】顔のプロポーションの反復練習	60分
5回 福地	【ヘアスタイル①】 ヘアスタイルの描き方、小物や帽子等のコーディネート	【予習】ヘアスタイルのリサーチ、資料収集	60分
6回 福地	【ヘアスタイル②】 着色、仕上げ	【復習】顔やヘアスタイルのスケッチ	60分
7回 福地	【平絵①】 スカート (タイト、ギャザー、フレアー、プリーツ)	【復習】平絵の反復練習	60分
8回 福地	【平絵②】 シャツ、ブラウス	【復習】平絵の反復練習	60分
9回 福地	【シャツ&スカートの着装①】 着装ポイント、生地の動き、シワの描写表現等	【予習】シャツ・スカートのデザインリサーチ、資料収集	60分
10回 福地	【シャツ&スカートの着装②】 シャツとスカートの種類を描き分ける、平絵も含む	【復習】各種アイテムの着装練習	60分
11回 福地	【シャツ&スカートの着装③】 着色、仕上げ	【復習】各種アイテムの着装練習	60分
12回 福地	【ディテール】 襟・ネックライン・袖等の種類について	【復習】デザインリサーチや反復練習	60分
13回 福地	【ワンピースの着装①】 ワンピースのデザインについて、デザインバリエーション	【予習】ワンピースのデザインリサーチ、資料収集	60分
14回 福地	【ワンピースの着装②】 ディテール表現、平絵	【復習】各種アイテム着装の練習	60分
15回 福地	【ワンピースの着装③】 着色、仕上げ	【復習】各種ワンピースのスケッチ	60分

ファッション画 I

福地 宏子

服飾造形科 1年 通年(後期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

服のシルエット、素材、色彩等を意識し、デザインの正確な描写をトレーニングすることで、前期で修得した知識と技術を発展させる。

幅広いファッションジャンルに対して目を向け、自身の好みや世の中の流行を意識することを心がける。

■到達目標 (学修成果)

- ・生地や素材感を意識した描写ができる
- ・様々なアイテムに対しての着装表現、平絵の描き方を修得できる

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

終了要件として必要な科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各課題にはコメントやアドバイスを記入し、返却後に振り返りができるようにする。または直接コメントする。

課題によっては、返却時にクラスメイトの課題を閲覧する時間を設けて、意見交換やアドバイスを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ファッション画法

■参考文献

授業内で適宜紹介する

■オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】ファッション画研究室 研究棟2階 6025

■備考

- ・授業に必要な道具や参考資料は必ず開始前に準備すること
- ・進捗により授業計画が変更になる場合もある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	【素材や柄の描写表現①】 画材を活かした表現方法 (水彩絵具・色鉛筆等)	【復習】 様々な素材や柄の表現練習	60分
2回 各自	【素材や柄の描写表現②】 画材を活かした表現方法 (水彩絵具・色鉛筆等)	【復習】 様々な素材や柄の表現練習	60分
3回 各自	【テーラード・ジャケット①】 ジャケットの説明、描き方	【予習】 ジャケットのデザインリサーチと資料収集	60分
4回 各自	【テーラード・ジャケット②】 着装と平絵	【復習】 ジャケットのスケッチ	60分
5回 各自	【テーラード・ジャケット③】 着色、仕上げ	【復習】 ジャケットのスケッチ	60分
6回 各自	【ニットウェア①】 編み模様の種類や表現	【復習】 ニットアイテムのスケッチ	60分
7回 各自	【ニットウェア②】 デザイン出し、着色	【予習】 課題進行の準備	60分
8回 各自	【ニットウェア③】 仕上げ	【復習】 ニットアイテムのスケッチ	60分
9回 各自	【コート①】 (厚手の毛織物) 生地を活かしたデザイン提案	【予習】 コートのデザインリサーチと資料収集	60分
10回 各自	【コート②】 着装と平絵、小物のコーディネート	【復習】 ファッション小物のスケッチ	60分
11回 各自	【コート③】 着色、仕上げ	【復習】 生地描写の練習	60分
12回 各自	【子ども服①】 年齢によるプロポーションの変化、ポーズの表現	【予習】 子ども服のデザインリサーチと資料収集	60分
13回 各自	【子ども服②】 平絵、素材表現	【復習】 プロポーションと着装的練習	60分
14回 各自	【メンズファッション①】 プロポーションの練習、着装表現	【復習】 プロポーションの反復練習	60分
15回 各自	【メンズファッション②】 プロポーションの練習、着装表現	【復習】 着装的練習	60分

クリエイティブデザイン I

赤川 順子

服飾造形科 1年 後期 必修 (1単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

ファッションデザイナー、ディレクターとしての企業実務経験者による授業。
デザイン考案をするための基礎的要綱を学び、1年次に制作した作品のテーマ、コンセプト、特長などをビジュアル化したポートフォリオとして作り記録に残す。

■到達目標 (学修成果)

アイディアリソースの捉え方や多様な展開方法を知り、デザインプロセスを推し進める基礎的な力を身につける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要とする科目

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題の制作過程において個々へのアドバイスをその都度行います。

ポートフォリオの発表に対しては講評を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問などに対応します。

■備考

日程、授業内容は変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤川	アイディアソースとファッションデザインの関係について	コレクション情報のリサーチ	45分
2回 赤川	作品のデザインテーマ、コンセプトの関係性、ファッションテイストについて	図書館を利用するなどしてファッション関連資料を閲覧する	45分
3回 赤川	提案の背景を意識し伝えたいメッセージを考える	コレクション情報のリサーチ	30分
4回 赤川	デザイン紹介ページの構成を決める	雑誌、カタログなどの閲覧を通し多様なページ構成を確認しておく	45分
5回 赤川	デザイン紹介ページの作成 (スカート)	作品のテーマ、コンセプト、メッセージを考えておく	30分
6回 赤川	デザイン紹介ページの作成 (ブラウス)	作品のテーマ、コンセプト、メッセージを考えておく	30分
7回 赤川	デザイン紹介ページの作成 (パンツ)	作品の写真を撮影しておく	60分
8回 赤川	デザイン紹介のページ作成 (修了制作)	作品の写真を撮影しておく	60分
9回 赤川	ポートフォリオ全体の仕上げ	発表会に向けての準備	45分
10回 赤川	ポートフォリオ発表会/講評	自らの作品と他者の作品を振り返り収穫ポイントを知る	30分

アパレルCGI

地代 紀子

服飾造形科 1年 通年(前期) 必修 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

グラフィックデザイナーとして、多種の印刷物やウェブ制作等の実務経験を活かし、実践で役立つ大事なポイントを押さえ、やさしい操作から徐々にステップアップする流れとなっている。
ファッション業界の現場はもちろんのこと、様々な業務で一般的に使われているグラフィックソフト、Illustrator・Photoshopを使い、目的に応じたイメージを、的確で洗練されたデザインとして表現できる技術の基礎を学ぶ。

■到達目標 (学修成果)

Illustrator・Photoshopの基本操作と様々なグラフィックの作成を学ぶ。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、1年次修了に必要な科目。

Illustrator・Photoshopを効果的に使い、業務をスムーズに進めるためのスキルが身につく。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内での質問に随時対応する。作品は個別に講評し、フィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

Photoshopしっかり入門、Illustrator しっかり入門 (増補改訂第3版)

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 地代	オリエンテーション Illustrator 基本操作 色々な図形を描く	PCログイン アドビログイン 予習：教科書を確認	50分
2回 地代	Illustrator 基本操作 ペンツールでシンプルなイラストを描く	予習：教科書を確認	30分
3回 地代	Illustrator ハンガーイラスト (平絵) ①/スカート	予習：教科書を確認	30分
4回 地代	Illustrator ハンガーイラスト (平絵) ②/シャツ	予習：教科書を確認	30分
5回 地代	Photoshop 写真と画像 (解像度・保存形式) 基本操作	予習：教科書を確認	30分
6回 地代	Photoshop 画像の補正 色調補正 調整レイヤー	予習：教科書を確認	30分
7回 地代	Photoshop レタッチ マスク (切抜き) Illustrator 写真の配置・マスク	予習：教科書を確認	30分
8回 地代	Illustrator グラデーション カラーの操作	予習：教科書を確認	30分
9回 地代	Illustrator 文字の操作 文字を活用したグラフィック ロゴの作成	予習：教科書を確認	30分
10回 地代	ペンタブの操作 各種ブラシで自由にドローイング	予習：教科書を確認	30分
11回 地代	Tシャツデザイン①/資料集め デザインを考案・作成 復習：データ整理・確認 ★課題	予習：教科書を確認	30分
12回 地代	Tシャツデザイン②/デザイン作成 まとめ ★課題提出	復習：データ整理・確認	30分
13回 地代	Photoshop 選択範囲とマスク (切抜き) Tシャツフィードバック	予習・復習：教科書を確認	30分

アパレルCG I

地代 紀子

服飾造形科 1年 通年(後期) 必修 (3単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 地代	Photoshop ポートレート・風景の加工テクニック	予習・復習：教科書を確認	30分
2回 地代	Photoshop 文字と画像でYouTubeサムネールを作成 ★課題提出	予習・復習：教科書を確認	30分
3回 地代	グリーティングカード①／デザインを考案・作成 ★課題	予習・復習：教科書を確認	30分
4回 地代	グリーティングカード②／まとめ ★課題提出	予習・復習：教科書を確認	30分
5回 地代	イメージボード①／資料集め デザイン・コンセプトを考案 ★課題	予習・復習：教科書を確認	30分
6回 地代	イメージボード②／各素材の作成・加工 レイアウト ★課題	予習・復習：教科書を確認	30分
7回 地代	イメージボード③／レイアウト まとめ ★課題提出	復習：データ整理・確認	30分

アパレル素材論

赤澤 結花

服飾造形科 1年 通年(前期) 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

天然繊維を中心に繊維が糸になり、布になっていくプロセスとベーシックなファブリックの知識を学ぶ。アパレル業界で働く上で必須とされる素材に関する知識は、興味を持ってこそ身につくという考えの下、特に「見ること」と「触れること」に重点を置いた授業内容になっている。繊維サンプルを配布し、その素材に触れながら構造や特徴を学ぶ。そしてその繊維と人の歴史的背景を紐解き、その繊維に関連したビデオを見ることで、より具体的な知識を深める。また、テキスタイルファブリックについてはスワッチサンプルを手にし、その布としての特徴や組成、組織について学んでいく。

■到達目標 (学修成果)

アパレル素材の基本的な知識を身につける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。アパレル業界のどの職種においても必要となるスキルを養うことに繋がる。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

筆記テスト終了後、内容の解説をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

アパレル素材の基本 鈴木美和子・窪田英男・徳武正人著 織研新聞社

■参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株) テキスタイル・ツリー

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日 (16時00分～17時00分) 5201教室 (第5校舎2階)

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤澤	オリエンテーション	復習：ノートを見直す	30分
2回 赤澤	繊維の分類	予習：教科書の分類表を見る	30分
3回 赤澤	綿の歴史	復習：ノートを見直す	30分
4回 赤澤	綿繊維の構造と特徴	復習：ノートを見直す	30分
5回 赤澤	「コットンの神秘」(ビデオ)、綿の種類	復習：ノートを見直す	30分
6回 赤澤	紡績工程	復習：ノートを見直す	30分
7回 赤澤	糸について	復習：ノートを見直す	30分
8回 赤澤	生地について スワッチの配布	復習：スワッチの確認をする	30分
9回 赤澤	生地の説明	復習：テキストの説明を読む	30分
10回 赤澤	〃	復習：テキストの説明を読む	30分
11回 赤澤	麻の繊維 (ラミーとリネン)	復習：ノートを見直す	30分
12回 赤澤	全体の復習	復習：ノートを見直す	30分
13回 赤澤	まとめ	復習：ノートを見直す	30分
14回 赤澤	羊毛の歴史	復習：ノートを見直す	30分
15回 赤澤	羊毛繊維の構造と特徴	復習：ノートを見直す	30分

アパレル素材論

赤澤 結花

服飾造形科 1年 通年(後期) 必修 (2単位 講義)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 赤澤	「ウールの長い旅」(ビデオ)、梳毛と紡毛について	復習:ノートを見直す	30分
2回 赤澤	生地について スワッチの配布	復習:スワッチの確認をする	30分
3回 赤澤	生地の説明	復習:テキストの説明を読む	30分
4回 赤澤	〃	復習:テキストの説明を読む	30分
5回 赤澤	その他の獣毛繊維	復習:ノートを見直す	30分
6回 赤澤	〃	復習:ノートを見直す	30分
7回 赤澤	フェルトの実習(3回通し)	復習:フェルト玉等を作ってみる	30分
8回 赤澤	〃	復習:フェルト玉等を作ってみる	30分
9回 赤澤	〃	復習:フェルト玉等を作ってみる	30分
10回 赤澤	絹の歴史	復習:ノートを見直す	30分
11回 赤澤	絹繊維の構造と特徴 糸について	復習:ノートを見直す	30分
12回 赤澤	生地について スワッチの配布	復習:スワッチの確認をする	30分
13回 赤澤	生地の説明	習:テキストの説明を読む	30分
14回 赤澤	全体の復習	復習:ノートを見直す	30分
15回 赤澤	まとめ	予習:指定のスワッチを覚える	30分

服装史

小寺 和果

服飾造形科 1年 前期 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

私たちの身の回りのファッションは、長い歴史の積み重ねの上に成り立っています。本授業では古代から現代までの服装の変遷について西洋を中心に概説し、服を取りまく人々の文化や、繰り返されるリバイバルにも着目します。

多くの図像資料を鑑賞しながら、歴史上の様々な服装がなぜ生まれ、どのように変化したのか、背景にはどのような美意識・ルール・社会情勢があったのかなどについて考えながら、多角的に学んでいきましょう。

配布するノート用プリントに授業内容のメモに加えて考察を書き込み、毎授業終了時に提出することを課題とします。

■到達目標 (学修成果)

各時代のファッションとその背景、現代までの変遷を理解することで、2020年代現在のファッションがいかなるものであるかや今後の動向を掴むために必要な考え方を養います。また、製作や企画などファッションに関わるあらゆる場面において、歴史からアイデアのヒントを得ることができるようになります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

1年生の必修科目です。今後展開される発展的な学びの下地となる基礎知識を身につけます。

服そのものを見るだけに留まらず、幅広い視野をもって学習することが重要です。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回の授業で記入・提出するノート用プリントについては、適宜評価をつけて返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

授業資料プリントを作成し、毎回配布します。

■参考文献

DK社『FASHION 世界服飾大図鑑』河出書房新社, 2020 深井晃子『一増補新装カラー版—世界服飾史』美術出版社, 2020 など
その他の文献等資料に関しても、適宜授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課 (本校舎1階)

質問などありましたら、授業終了後に対応いたします。

■備考

成績表について、①授業最終回に実施する最終課題、②授業態度・姿勢 (欠席・遅刻も含む)、③毎回提出する考察 (ノート内容も含む) を重視します。

授業進度によって内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 小寺	①オリエンテーション ②イントロダクション ③古代の服飾：エジプト、ギリシャ、ローマ	プリントの確認 (紹介資料の閲読・視聴)	30分
2回 小寺	中世末期から近世初頭の服飾 (14-16世紀) ：色彩表現の変化、誇張と変形	プリントの確認 (紹介資料の閲読・視聴)	30分
3回 小寺	17-18世紀の服飾 (バロック、ロココ) ：フランスの宮廷服	プリントの確認 (紹介資料の閲読・視聴)	30分
4回 小寺	19世紀の服飾 (ロマン主義、アール・ヌーヴォー) ：モード産業の確立	プリントの確認 (紹介資料の閲読・視聴)	30分
5回 小寺	現代服への移行 (20世紀前半) ：ポール・ボワレ、ココ・シャネル、エルザ・スキヤパレリ	プリントの確認 (紹介資料の閲読・視聴)	30分
6回 小寺	戦後のモード：クリスチャン・ディオール、 イヴ・サンローラン、マリー・クワント	プリントの確認 (紹介資料の閲読・視聴)	30分
7回 小寺	ファッションの多様化：ジャン＝ポール・ゴルティエ、 川久保玲、ヴィヴィアン・ウエストウッド	プリントの確認 (紹介資料の閲読・視聴)	30分
8回 小寺	①最終課題 ②現代のモード	プリントの確認 (紹介資料の閲読・視聴)	30分

色彩論 I

桑野 恵美

服飾造形科 1年 後期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

仕事で「色」を活かすために重要となる「色を見分ける力」「配色力」「色の説明力」を養うための色の基本を理解する。本授業ではファッション色彩能力検定3級受験を前提とし、教科書である『ファッション色彩I』に沿って授業を進める。講義の他、実際に配色カードを使用してカラーワークも行い、色感アップと色の基本知識の習得を目標とする。授業担当者は、各分野に落とし込んだ色彩提案を行う、カラーコンサルタント会社での実務を通じて、感性だけに頼らない、ビジネスに通用するための客観的な視点による色の考え方の理解を目指す。

■到達目標 (学修成果)

ファッション色彩能力検定試験3級合格を目指す。
身の周りにあるたくさんの色の効果を学び、実感することで、個々の活動の中で、感性だけに頼らない色の使い方を知る。また2年次以降に取得を目差す『ファッション色彩能力検定試験2級』に向けた色彩基礎力を築く。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級要件である。服飾に関わる様々な分野（造形・デザイン・ビジネス等）において、目的や状況に応じた“色”を提案するための基礎を習得する。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

過去問題はポイント箇所を中心に解説を行います。問題集は、必要であれば解説を行います。
全体に向けての講評と必要な場合、カラーワークの課題にコメントを入れて返却します。（提出課題のみ）

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

ファッション色彩 [1] / ファッション色彩3-ファッション色彩能力検定試験3級公式問題集-(2021年~2024年):(一財)日本ファッション教育振興協会発行/その他:日本色研 JIS対応ベーシックカラー140 B6 (配色カード)

■参考文献

適宜アナウンスします。

■オフィスアワー・研究室

授業前後の時間で質問等対応します。

■備考

教科書、問題集、配色カード、はさみ、のりは毎回、準備してください。
各回の授業の順番・内容は変更になる場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 桑野	ガイダンス/概論 (生活の中における色彩の働き) 色の三属性	復習: 問題集の該当箇所の学習。 ツールの作成 (カラーワーク)	90分
2回 桑野	色相環・トーン一覧表作成 ヒュー&トーン	復習: 問題集の該当箇所の学習。 ツールの作成 (カラーワーク)	90分
3回 桑野	色の成り立ち/光と色 配色①(色相配色)	復習: 問題集の該当箇所の学習。	60分
4回 桑野	混色/色覚と色 配色② (トーン配色)	復習: 問題集の該当箇所の学習。	60分
5回 桑野	色彩心理 (対比/同化) グラデーション	復習: 問題集の該当箇所の学習。	60分
6回 桑野	色彩の技術 アクセントセパレーション (色相・トーン/無彩色と柄/無地の配色/色彩構成)	復習: 問題集の該当箇所の学習。	60分
7回 桑野	ファッション産業と色彩	復習: 問題集の該当箇所の学習。 過去問題を解く。	100分
8回 桑野	過去問題のフィードバック/総復習	総復習	100分

ファッションビジネス概論

福田 宜央

服飾造形科 1年 通年 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

(株)サンエー・インターナショナル(現(株)T S I)でのマーチャンダイザーや海外事業運営の経験に基づき、アパレル企業で行われる業務事例を踏まえながら概況を解説し、商品計画立案から販売までのマーチャンダイジングをどのように行うか、ブランドビジネスの運営方法や基本的なビジネス数字について学び、ファッションビジネスの基礎知識を修得する授業とする。

■到達目標(学修成果)

授業を通してファッションビジネスの全体像や流れ、基礎的な専門用語や商品展開の仕組みの大枠について理解する事を目標とする。実際に販売されているアパレル商品は、どのようにして計画され、どのような過程を経て展開されているか、商品展開方法やブランド運営の知識が修得できる。また、将来就業時に必要となるビジネスに関する数字やデータ項目の基本を学習した上で、仕入から販売、利益の関係に至るまで、ビジネスに必須な基礎知識として理解できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。将来ファッションビジネスに関わる就業を目標に、2年次に進級してより高度な専門性を学ぶために必要なアパレル業界の基礎用語や仕組みについて、1年次に基本的な専門知識を理解・修得して基礎力をつける。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

Part I、II、IIIのテーマ終わりの授業毎に実施する振り返りチェックの解説を次回授業で行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし。授業毎に応じたプリントを配布。

■参考文献

なし。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画(前期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 福田	・ファッションビジネスの仕組み	復習：授業のまとめ	30分
2回 福田	・商品展開のプロセス	復習：前回授業概要	30分
3回 福田	・シーズンの設定と運営の事例、 振り返りチェック(Part I)	復習：前回授業概要	30分
4回 福田	・ビジネスに必要な分析項目	復習：前回授業概要	30分

■授業計画(後期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 福田	・販売計画から利益まで	復習：前回授業概要	30分
2回 福田	・ファッションビジネスの予算と支出、 振り返りチェック(Part II)	復習：前回授業概要	30分
3回 福田	・ブランド運営について	復習：前回授業概要	30分
4回 福田	・MDプランから商品化に至るまで	復習：前回授業概要	30分
5回 福田	・計画と実績の確認、 振り返りチェック(Part III)	復習：前回授業概要	30分
6回 福田	・年次振り返り、総まとめ	復習：全授業の確認	45分

コミュニケーションスキルⅠ

野本 睦美

服飾造形科 1年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

『コミュニケーションの取り方』『社会人としてのマナー』『販売とは』などこれからの社会、販売員に必要なスキルとなりたい自分へ、自ら形成する力を身につけることを目指す。

■到達目標 (学修成果)

ショップ販売員の現状を知り、これから求められる人材としてのスキルを身につけることを目標とする。授業担当者の販売のプロとしての実務経験を活かし、社会で必要とされる基本知識、実践的な接客方法を習得することを目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要な科目。
将来の就職に向けて仕事を理解し実践できるようにする。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回授業の終わりに内容、感想、質問などを記入したルーズリーフの提出してもらい次の授業始めに返却。個人的内容に関してはコメントを記入。全体の問題点であれば授業中にフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

無し

■参考文献

無し

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問などに対応する。

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 野本	コミュニケーション 1 自己紹介、自己PR	復習、講義内容の確認	30分
2回 野本	コミュニケーション 2 自分を知る、相手を知る	復習、講義内容の確認	30分
3回 野本	コミュニケーション 3 第一印象	復習、講義内容の確認	30分
4回 野本	コミュニケーション 4 笑顔と挨拶	復習、講義内容の確認	30分
5回 野本	社会人としてのマナー 1 言葉づかい	復習、講義内容の確認	30分
6回 野本	社会人としてのマナー 2 電話応対	復習、講義内容の確認	30分
7回 野本	社会人としてのマナー 3 勤務態度	復習、講義内容の確認	30分
8回 野本	販売の基本 1 1年の流れ、接客基本用語	復習、講義内容の確認	30分
9回 野本	販売の基本 2 購買心理、ファン作り。	復習、講義内容の確認	30分
10回 野本	まとめ なりたい自分になる	復習、講義内容の確認	30分

プレゼンテーションⅡ

赤川 順子、齋藤 宣

服飾造形科 2年 前期 選択必修（2単位 演習）

■授業の方針・概要

アパレル業界で、ブランドを発表している経験を生かし、プランニングのコアとなるコンセプト、ターゲット、トレンド、シーズン性を考慮しながら、アパレルブランドのプランニング的演習を行い、プレゼンテーションによって完結させる。

■到達目標（学修成果）

ファッション分野をテーマに基づいてストーリーを組み立て、ビジュアル化し、発表する力を取得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要とする科目。表現者として、社会で必要とされる言葉とビジュアルでの伝達力を確立する。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーションの結果を講評、提出物はコメントを加えた後に学期中に返却。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

赤川…授業終了後、質問等対応する

齋藤…毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤川	オリジナルブランド（プレゼンテーションの本質を理解）	予習：マーケットリサーチ	30分
2回 赤川	オリジナルブランド（プランシート作成、アイテム展開考案）	復習：展開をまとめる	60分
3回 齋藤	オリジナルブランド（PC作業）	復習：PC作業	30分
4回 齋藤	オリジナルブランド（PC作業）	復習：PC作業	30分
5回 齋藤	オリジナルブランド（資料作成）	復習：PC作業	30分
6回 赤川	オリジナルブランド（デザイン、コーディネート構成確認）	復習：デザイン確認	60分
7回 齋藤	オリジナルブランド（資料作成）	復習：PC作業	30分
8回 齋藤	オリジナルブランド（資料作成）	復習：PC作業	60分
9回 赤川	オリジナルブランド（コーディネートチェック、資料作成）・ プレゼンテーション準備	復習：コーディネート確認	60分
10回 赤川	プレゼンテーション	予習：プレゼン原稿考案	60分

特別講義 I

白倉 圭子、神崎 由里香

服飾造形科 1年 通年 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

現場で活躍するスペシャリストの講義など、最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。通常授業だけでは知り得ない情報やアパレル企業の現場を実感できる内容である。

■到達目標 (学修成果)

学内だけでは学べないアパレル業界の現状を知り、知識を身につけられる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、1年次修了に必要な科目。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各講義のレポート等は、担当教員が点検・返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて資料配布。

■参考文献

なし。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応。

■備考

外部講師による授業なので、内容や時間は先生により変更がある。

■授業計画 (前期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外部	トレンドセミナー	レポートまたは感想文を提出	40分
2回 外部	アパレル業界について	レポートまたは感想文を提出	40分
3回 外部	知的所有権について	レポートまたは感想文を提出	40分
4回 外部	副資材について	レポートまたは感想文を提出	40分

■授業計画 (後期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外部	ウール素材と環境について	レポートまたは感想文を提出	40分
2回 外部	下着について	レポートまたは感想文を提出	40分
3回 外部	ウォーキングレッスン	レポートまたは感想文を提出	40分
4回 外部	トレンドセミナー	レポートまたは感想文を提出	40分

マーケットリサーチ

福田 宜央

服飾造形科 1年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

(株)サンエー・インターナショナル(現(株)T S I)でのマーチャンダイザーや海外事業運営の経験を基に、アパレル企業で行われる商品計画立案時に必要となるマーケットリサーチ(市場調査)の基礎知識を習得する授業とする。造形授業の課題制作前に実際に店頭リサーチを行い、マーケットのトレンドも確認しながら、実習を交えてリサーチを活用する方法を学ぶ。

■到達目標(学修成果)

授業を通して実際に販売されているアパレル商品をリサーチすることで、そのシーズンのトレンドを分析できるようになる。また、調査結果を考察してレポートにまとめ、概要の発表を対外的に行う伝達手段の基礎力の体得を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。また、後期に履修するプレゼンテーションの授業のデータ収集と関連付ける。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

レポートの発表後や返却時など、内容に応じ要点を踏まえてコメントにてフィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし。授業毎に応じたプリント等を配布。

■参考文献

なし。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 福田	オリエンテーション/ アイテムリサーチについて①[スカート]/リサーチ実施	復習:授業のまとめ	30分
2回 福田	アイテムリサーチ①[スカート] レポートのまとめと発表	復習:前回授業概要	30分
3回 福田	アイテムリサーチについて②[ブラウス]/リサーチ実施	復習:前回授業概要	30分
4回 福田	アイテムリサーチ②[ブラウス] レポートのまとめと発表	復習:前回授業概要	30分
5回 福田	アイテムリサーチについて③[パンツ]/リサーチ実施	復習:前回授業概要	30分
6回 福田	アイテムリサーチ③[パンツ] レポートのまとめと発表	復習:前回授業概要	30分
7回 福田	ショップリサーチについて/リサーチ実施	復習:前回授業概要	30分
8回 福田	ショップリサーチ レポートのまとめと発表	復習:前回授業概要	30分
9回 福田	業態別アパレルショップのリサーチについて/リサーチ実施	復習:前回授業概要	30分
10回 福田	業態別アパレルショップの比較 レポートのまとめと発表/ 総括	復習:前回授業概要	30分

プレゼンテーション I

福田 宜央

服飾造形科 1年 後期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

(株)サンエー・インターナショナル(現 (株)T S I)でのマーチャンダイザーや海外事業運営の実務経験を活かして、アパレル企業が業務で行うレポートや資料の作成、それを伝達するプレゼンテーションの方法を解説し、リサーチ情報のまとめから対外的にプレゼンテーションを実際に体感して学ぶ演習授業とする。前期の授業で履修するマーケットリサーチのデータや、新たに設定したテーマのリサーチ情報を、パワーポイント(PPT)を使用してレポートに作成、プレゼンテーションを行う。

■到達目標(学修成果)

リサーチした情報を分析・考察して伝達したいポイントをレポートにまとめていくスキルと、対外的に発表を行うことでプレゼンテーションの基礎力を体得することを目標とする。レポート作成時にはPPTの基礎的な機能や操作方法を理解して、要点をまとめた簡易な資料作成もできるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。また、卒業後の就業に関わる面接時や、就業してからの資料作成や報告など、今後必要となる表現手段の基礎力を身に付ける。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

プレゼンテーション発表後やレポート返却時など、内容に応じ要点を踏まえてコメントにてフィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし。授業毎に応じたプリント等を配布。

■参考文献

なし。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 福田	オリエンテーション/ プレゼンテーション事例紹介/文字入力練習	復習:授業のまと	30分
2回 福田	アイテムリサーチと課題制作のレポート① (PPT実習:レポート作成)	復習:前回授業概要	30分
3回 福田	アイテムリサーチと課題制作のレポート② (プレゼンテーション)	復習:前回授業概要	30分
4回 福田	ブランドリサーチ① (ショッピングリサーチ実施)	復習:前回授業概要	30分
5回 福田	ブランドリサーチ② (PPT実習:レポート作成)	復習:前回授業概要	30分
6回 福田	ブランドリサーチ③ (プレゼンテーション)	復習:前回授業概要	30分
7回 福田	グループワーク① (ディスカッション、PPT実習:レポート作成)	復習:前回授業概要	30分
8回 福田	グループワーク② (プレゼンテーション) / 総括	復習:前回授業概要	30分

ファッション実用英語

草場 千紘

服飾造形科 1年 前期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

本コースは、ファッション・デザインを学ぶ学習者のために英語学習内容を服飾分野に定め、服飾分野での英語でのコミュニケーションに役立つように構成されています。ネットニュースなどのファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画の視聴によるリスニング練習、自己紹介発表による英語でのプレゼンテーションの練習も行います。

■到達目標 (学修成果)

ファッションに関する基本的な英単語や用語、ファッションに関する会話のパターンを知り使用できるようになる。英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

一般科目として、必修2単位 (高度アパレル専門科)、または選択2単位 (服飾造形科・ファッションビジネス科・アパレル技術科) となっている。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

プリントを配布します。

■参考文献

必要に応じて授業内で配布。

■オフィスアワー・研究室

第1回の授業で指示。オフィスは、杉野服飾大学英語研究室 (研究棟3階)

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 草場	自己紹介発表準備 服飾関連記事の読解(1) 関連動画の視聴と書き取り	予習：記事に目を通す。 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
3回 草場	自己紹介発表(1) 服飾関連記事の読解(2)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
4回 草場	自己紹介発表(2) 服飾関連記事の読解(3)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
5回 草場	自己紹介発表(3) 服飾関連記事の読解(4)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
6回 草場	自己紹介発表(4) 服飾関連記事の読解(5)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
7回 草場	自己紹介発表(5) 服飾関連記事の読解(6)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
8回 草場	自己紹介発表(6) 服飾関連記事の読解(7)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
9回 草場	自己紹介発表(7) 服飾関連記事の読解(8)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
10回 草場	自己紹介発表(8) 服飾関連記事の読解(9)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
11回 草場	自己紹介発表(9) 服飾関連記事の読解(10)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
12回 草場	自己紹介発表(10) 服飾関連記事の読解(11)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
13回 草場	自己紹介発表(11) 服飾関連記事の読解(12)、関連動画の視聴と書き取り	予習：クイズ、発表の準備 復習：クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
14回 草場	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る。	30分
15回 草場	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る。	30分

ビジネスコンピュータ（基礎）

齋藤 宣

服飾造形科 1年 後期 選択（2単位 演習）

■授業の方針・概要

現代のビジネスにおいて、コンピュータは必要不可欠なツールです。特に、Microsoft Office系アプリケーションソフト（Word、Excel、PowerPoint）は、多くの業界で広く利用されています。これらのアプリケーションの中でも、データ分析や資料作成に不可欠なExcelに焦点を当て、その基礎を習得します。具体的には、基本的な計算や関数、グラフ作成などの操作を通して、ビジネスで役立つ実践的な活用方法を学びます。

■到達目標（学修成果）

Microsoft Office系アプリケーションソフトの中でも、特にExcelの基礎を習得し、ビジネスにおける資料作成に必要な基本操作を実践できるようになることを目指します。具体的には、以下のスキルを習得し、業務効率向上に貢献できる人材を育成します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目ではありませんが、社会人に必須なPCスキルの基本を身に付ける科目である

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

よくわかる Excel2016 基礎（FOM出版）

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 齋藤	Excel 基本操作	復習：excelホーム画面の確認	30分
2回 齋藤	Excel 四則演算	復習：四則演算の操作確認	30分
3回 齋藤	Excel 計算初歩①	復習：操作順序の確認	30分
4回 齋藤	Excel 計算初歩②	復習：操作順序の確認	30分
5回 齋藤	Excel 計算中級①	復習：操作順序の確認	30分
6回 齋藤	Excel 計算中級②	復習：操作順序の確認	30分
7回 齋藤	Excel 計算応用①	復習：操作順序の確認	30分
8回 齋藤	Excel 計算応用②	復習：操作順序の確認	30分
9回 齋藤	Excel 表作成の基礎	復習：操作順序の確認	30分
10回 齋藤	Excel 関数①	復習：操作順序の確認	30分
11回 齋藤	Excel 関数②	復習：操作順序の確認	30分
12回 齋藤	Excel グラフ①	復習：操作順序の確認	30分
13回 齋藤	Excel グラフ②	復習：操作順序の確認	30分
14回 齋藤	Excel 復習・模擬テスト	復習：操作順序の確認	30分
15回 齋藤	Excel テスト	予習：テスト勉強	30分